

～ecocon2015 活動紹介集の記入例～

この記入例はあくまでも「例」なので、自由な発想でご記入ください。活動紹介集の手引きも参考にしてください。

【団体名（よみがな）】 ecocon(全国大学生環境活動コンテスト実行委員会)	【団体種別】 学生組織
設立年：2003年 連絡先：support@ecocon.info SNS：https://www.facebook.com/ecocon.info	所在地：〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TTK西新橋ビル3階 HP：http://www.ecocon.info/
【代表者氏名】 橋本 雄太 所属大学・学部・学年： 慶應義塾大学 経済学部 4年	
【団体概要（運営体制・学年構成など）】 運営体制：代表1人、選考・企画・広報・営業・事務ごとリーダーが1人、社会人の方より運営サポートメンバー(学年)構成：慶應義塾大学4年、慶應義塾大学3年、慶應義塾大学3年、早稲田大学5年、明治大学4年、上智大学2年、お茶の水女子大学3年、東海大学4年、日本大学4年、日本大学3年、十文字学園女子大学2年、東京農業大学4年、東京都市大学3年	
【活動の背景と目的】 全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)は、2003年より大学生の環境活動の活性化を目指し毎年開催されてきました。このコンテストを通して、各地の環境活動に携わる学生と社会人・企業との交流を促進し、メディアで発信されることで社会における学生環境活動の認知・影響力を広めることに貢献しています。	
【活動内容】 年末に開催される全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)に向けて通年で企画立案を行っています。新たな学生スタッフの方が毎年加入し、ecoconが常に進化し続けるように新プロジェクトをメンバー全員で考え、実行することを目標に日々活動しており、さらに定期的にイベントを行い環境について考える機会も提供しています。	
【今年のスケジュール】 3月14日 エコ企業グランプリ 5月17日 ECOクッキング～野菜を上手に使い切ろう～ 5月24日 エコ情報交流会 8月8日 ガチ！コン（ecoconアカデミー企画） 8月22日 森コン（ecoconアカデミー企画） 10月1日 参加者（団体・一般）エントリー開始 11月27～28日 泊まり込みリハーサル 12月26～27日 ecocon2015	
【自由アピール（活動経歴・写真や図などOK!）】	
	

以下、それぞれの選考基準に関して団体のアピールをして下さい。

①活動の軸

今年、新たに始めたプロジェクト「ecocon アカデミー」は、エココンの活動理念の3つ（学生環境活動のさらなる向上、社会発信、ネットワーク形成）を草の根レベルで体現したものです。具体的には、関東圏の学生環境団体に所属する1、2年生を対象に、年間セミナー形式のイベントを実施しました。NPOの方々や他の学生団体とコラボして開催することで、これからの学生団体を担う「新入生」に成長の場を提供し、将来的には団体を牽引していく存在になってほしい思いが込められています。エココンの活動理念が次の世代にも繋がるように進みます。

②挑戦

今年は特に「協力」を重視して、今までにない新しいことに取り組んだ年でした。史上初の「年間セミナー」として行われた ecocon アカデミーやエコ情報交流会、E00 クッキングといったイベントも開催しました。このようなイベントを通して、新入生向けの体験講座を行い、実際にフードロスを考えるための料理も行いました。また、協賛企業へのアプローチ方法を工夫し実際に会いに行くこと、例えばイベントに参加することなどを特に重視して活動しました。さらに、ecocon2015本番での福引企画やアイデアギャザリングなども初の試みとなっています。

③対話力

活動面では、実際に協力団体のミーティングに行き、ecocon2015スタッフ以外の方からも意見を聞く場を設けたり、ごはんを食べながらミーティングするなどして、発言しやすい雰囲気づくりを心がけました。

相手の立場やモチベーションなどを理解することで、力の掛け具合で差が生まれないように相手側の意見を汲み取り、密な協力関係を築けたと思います。

また、企業と協力する上では、環境事業や理念などを把握した上で、企業のニーズに合った ecocon の魅力の伝え方や ecocon と協力した際の相手側の利益などを予め考えておくことによって、話し合いを円滑に進める努力をしました。

④反省する力

イベントごとの反省会を欠かさずに行いました。また、E00 クッキングでは実際に作った料理のレシピを SNS で公開しました。さらに、イベント参加者にはアンケートや感想シートを書いてもらうことで、運営面の反省はもちろん、次回以降のテーマの選定にも参加者の声を反映させることを心がけています。

他にも、実際に面会した企業の方にエコット等へのアドバイスいただき、より質の高い意見交換ができるようにしています。月に1回ほど0B・0G にミーティングに来て頂いて、ecocon の歴史や本番当日までの流れや心構えを教えていただいています。このように上級生から下級生へと反省点が円滑に引き継げるような体制が出来ています。

⑤今後に生かす力

※ecocon2015 出場にあたり、年間の活動を振り返る時間を改めて設けることができたのではないのでしょうか？その振り返りを ecocon2015 後どのようにして活動に反映させるかを考えていただきたいと思います。④では、過去一年間に反省したものを使って実際にどのように活動に反映してきたかを明確にもらい、この⑤では振り返りを踏まえての ecocon2015 以降の展望について団体内で話し合い、それを書き記していただければ幸いです。

☆あなたの団体の『強み』とは？

まず、ecocon を創りあげの中で築かれてきた他の学生団体・企業・社会人とのネットワークを生かし、幅広いニーズを抽出することで、多様な活動を展開できる点です。

次に、所属メンバー1人1人のやりたいことを実践できる環境が整っているため、互いに切磋琢磨し合い、結束力が強く、活動におけるコミュニケーションや連携を高いレベルで実現できる点があげられます。

さらに、社会人アドバイザーの方にアドバイスをいただき活動に活かしています。学生目線では気がつかない点をご指摘下さり、ecocon の裏方としてサポートしていただいております。

☆現在、考えている活動の改善すべき点とは？

メンバーの入れ替わりが多いため、ある程度の基軸となる活動を創り、新旧メンバーが上手く関わることでできるような工夫しなければならない点です。

また、イベントをたくさん行うだけでなく、一つ一つのイベントの質を高める必要があると考えています。それにより、ecocon ファンが増え、より多くの人に足を運んでもらえる魅力的なコンテストを目指します。

そして、ecocon 本番に出場する団体数が少しずつ減っている点があげられます。上記で述べたような努力を継続的にを行い、ecocon ファンをもっと増やす努力を怠ってはならないと考えています。